

実習内容
ならびに
スケジュール

医療クオリティマネジメント学

曜日	内容	担当	集合時間	集合場所
月				
火				
水				
木	スキルスラボでのシミュレーション実習 口頭試問	高橋 山口	9:00	臨床教育統括センター 1号館4階 共用カンファレンス室④
金	医療安全管理部業務説明 薬剤部見学 医療倫理多職種カンファレンス VR実習	医療安全管理部員 江口 笹沼 平山	13:00 14:15	1号館4階 共用カンファレンス室③

◎ 診療科名： 医療クオリティマネジメント学

◎ 責任者氏名： 高橋 敬子 教授

◎ 指導教員氏名：

江口 明世 講師（医療クオリティマネジメント学）

笹沼 直樹 兼担教員（医療クオリティマネジメント学）

平山 亜矢子 非常勤講師（医療クオリティマネジメント学）

医療安全管理部員、臨床教育統括センター教職員

◎ 実習概要

患者安全の確保の視点を盛り込んだスキルスラボでのシミュレーショントレーニングや口頭試問を行う。

院内での医療安全管理部業務の紹介と実践、薬剤部見学を行う。

実際に直面する医療倫理的な問題に対して多職種カンファレンスを行い、グループ内でディスカッションを行う。

医療現場における多重課題や予測していなかった事態についてVRゴーグルを用いた実習を行う。

◎ 各診療科における到達すべき学修成果（アウトカム）

（臨床実習の授業概要「到達目標（アウトカム）」に準拠する）

- ・スキルスラボでの課題において安全に配慮した手技ができる。
- ・医療機器、医療材料の安全な扱い方を述べることができる。
- ・特定機能病院の医療安全体制について理解することができる。
- ・院内での患者向け安全配慮を指摘することができる。
- ・薬剤部業務を理解することができる。
- ・医療倫理に関する問題について多職種議論に参加し、自身の意見を述べることができる。
- ・多重課題における優先順位や意思決定について考えることができる。
- ・院内の予期せぬ出来事に対して適切に対処することができる。

◎ 準備学修ならびに事後学修に要する時間

- 4年次開講科目「医療安全管理と薬害」での学習内容を復習しておくこと（2時間程度）
- プレクリニカル教育で学習したマネキントレーニングを復習しておくこと（30分程度）

◎ 評価方法

知識、態度（積極性）、コミュニケーション、診察手技について評価。評価基準をルーブリックで明示。

【知識】

点数	基準
5	1) 医療安全、医療倫理、多職種連携に関する知識を的確かつ深く理解し、実習で積極的に活用している。 2) 幅広い知識を有し、先取り型の医療安全に取り組むことができる。
4	1) 過去の有害事象（医療事故）を契機に導入された我が国の医療安全システムの説明ができる。 2) 国家試験レベルに加え、幅広い知識を得ようと取り組んでいる。
3	1) 基本的な知識は理解しており、実習に取り組んでいる。 2) 国家試験レベルの知識は有している。
2	1) インシデントレベルの分類ができる。 2) 一部の知識を有しているが、実際の臨床の流れがイメージできていない。
1	1) インシデントレポートの意義について説明できる。 2) 患者安全の確保の意義が理解できておらず、学習態度はどうあるべきとの知識も有していない。（実習に正当な理由がなく欠席した場合も含む。）

【態度（積極性）】

点数	基準
5	1) 指導者のみでなく、グループメンバーに対しても配慮があり、リーダー/ フォロワーとして活躍している。 2) 実習で接するメディカルスタッフに対しても常に敬意ある態度で臨んでいる。
4	1) グループ内で協調した態度で実習に臨んでいる。 2) 場面に応じた言葉遣いや対応ができる。
3	1) 基本的な態度はできているが、指摘を受ける場面が時折ある。 2) 基本的な挨拶やマナーは身につけているが、消極的な面がみられる。
2	1) 白衣の汚れや乱れが目立ち、身だしなみも整っていない。 2) 挨拶ができない。
1	1) 名札を付けていない。実習に対する意欲が見えない。喫煙臭がする。 2) 正当な理由のない欠席や遅刻

【コミュニケーション】

点数	基準
5	多職種や患者役と円滑かつ適切なコミュニケーションができ、グループワークでも良好な連携がとれている。
4	基本的なコミュニケーション能力があり、必要な情報共有ができている。
3	意思疎通は可能だが、一部不明確な点や配慮不足がある。
2	相手に伝わりにくい場面があり、協調性に欠ける場面がある。
1	コミュニケーションが成立せず、実習の妨げになっている。

【診察手技（シミュレーション）】

点数	基準
5	シミュレーションにおいて的確かつ安全な手技を実践でき、医療安全の観点も十分に意識されている。
4	手技は概ね正確で、安全意識を持って行動できている。
3	基本的な手技は行えるが、技術や判断に課題がある。
2	手技に不正確な点が多く、安全性への配慮が不十分。
1	基本的な手技が実施できず、重大な安全上の問題がある。

◎ 中間評価とフィードバック

木曜午前・金曜午後の各単元の終了時に、その場でフィードバックを行う。

◎ 注意事項

- 木曜日と金曜日で集合場所が異なるため十分に確認すること。
- 集合時間および場所を厳守すること。
- 体調不良でやむなく欠席する場合は、欠席が確定した時点で、医療クオリティマネジメント学秘書室（電話番号 0798-45-6860）へ連絡し欠席を伝えること。
- 体調不良で欠席する場合は、診断書を提出すること。
- 補講は正当な理由で欠席と認められた者で、かつ本人から補講の希望があった場合のみ実施する。
- シミュレーションの時間であっても、病院内施設で行うため、名札、白衣着用のうえ、身だしなみには十分に留意すること。
- 2/11（木）祝日分の再実習は行わず、2/12（金）の実習のみで学生評価を行う。